

七里小通信

2020年5月25日(月) No.3 七里小学校 文責 中島



自分の命は自分で守る

学校が再開し、教室での教科の学習のほか、体験学習も始まりました。まずは「自分の命は自分で守る」ための安全学習(安全教育)です。

災害はいつ襲ってくるかわかりません。いざという時に適切に行動し自分の身を守れるよう、起震車体験、自転車教室、地震避難訓練を行いました。その時の様子をお知らせします。

起震車体験(5/12(火))

地震の揺れがどんなものか体験するために、高知県トラック協会から起震車に来てもらいました。はじめに地震から身を守るための話をしていただき、その後揺れを体験しました。ダンゴムシのように丸くなって頭を守ります。実際は、部屋の中では家具が倒れたり、物が落ちてきたり、とても危険な状態になるそうです。「大切なことは家の中でけがをしないこと。けがさえしなければ、その後の避難、水・食料の調達などはなんとかなる。そのためには、家具の転倒防止措置をしっかりとすること。おうちの方にそのことをしっかり伝えておいてください。」というお話がありました。

ダンゴムシになって頭を守ります



スラロームにけっこう苦戦



自転車教室(5/13(水))

例年は、窪川警察署の方に来ていただき、交通安全教室を行っていましたが、今年度は新型コロナの関係で学校だけで自転車教室を行いました。内容は、ブレーキ操作(急制動)、直進(一本橋)、ハンドル操作(スラローム)の3つです。自転車を安全に停止させる方法は、「左ブレーキ(後輪)を握ってスピードをゆるめ、その後右ブレーキ(前輪)を握って完全停止させる」ことを昨年警察の方から教えていただきました。ブレーキレバーの幅が広すぎて子どもの手では十分に握れない自転車もありましたので、ご家庭で一度確かめてあげてください。

地震避難訓練(5/21(木))

「教室で授業中に震度5クラスの地震が起こったら」という想定で避難訓練を行いました。これまで何度も訓練してきた緊急地震速報の音で一斉に机の下に入り、避難の放送後はヘルメット着用、屋外への移動などしっかりできました。避難指示から完了まで約1分20秒でした。いざという時もこうありがたいです。1年生に手伝ってもらって、「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない(お・は・し・も)」の約束も確認しました。

机の下で“ダンゴムシ”



“おはしも”の確認